

令和3年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令され、外出の自粛やイベント等の自粛など様々な自粛が行われました。ただ、新型コロナウイルス感染の2年目とすることでワクチン接種も進み、令和2年度ほどの利用者の新型コロナウイルスに対する不安は減少してきたことが、センター来館者や面接、訪問・同行の増加につながったと思えます。ただ、イベント等の中止など利用者へのサービスは引き続き減少し、退サボ等の医療機関との連携については面会・訪問は引き続きできない状況の中、各種アウトリーチ事業においても従来と違う形での支援の方法を検討し、対応しました。新型コロナウイルスと共存しながら、令和4年度のセンター事業における支援の方策を検討することが必要になってきています。

令和3年度は、区内地域ケアプラザとの連携や区役所の地区支援チーム会議参加により連携が強化され、区内におけるセンターへの期待や要望等を把握できたことで、新たな地域ニーズに対する相談体制ができた。

今後も利用者支援のより良い方法を検討すると共に地域における精神障害者やメンタルヘルスの不調の方への課題の解消に向けた支援を検討していきます。

■ 事業内容

- 1 開所日数 : 308日
- 2 登録者数 : 1,277名 (男性 749人、女性 528人)
- 3 来館者数 : 6,800名
- 4 事業実施状況
 - (1) 本体事業
 - ア. 日常生活支援
電話相談 4,662件、面接 698件、フリースペース対応 955件
訪問・同行 253件、その他 9件
 - イ. 有料サービス
夕食サービス 2357名、入浴サービス 401名、洗濯サービス 230名、インターネット 89名
 - ウ. 嘱託医相談
相談回数 31回 相談者 65名
 - エ. カウンセラー相談
相談回数 12回 相談者 36名
 - オ. 自主事業
 - *定例事業
誕生会(10回:119名)、利用者ミーティング(12回:91名)、姫の会(68人)
リカバリー講座(12回:105名)、おりがみ倶楽部(12回:127名)、昼食会(中止)、ひだまり参加(中止)、昼カラオケ(中止)、初詣(16名)
 - *その他イベント等
いたちまつり、納涼会、クリスマス会、合同新年会、区民まつり、スポーツデー
ソフトボール大会及び練習、花見、ようこそ出会い広場、
すべて、新型コロナウイルス感染防止のため中止

カ. 普及啓発活動

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で例年実施している生活支援センター及び精神障害、精神障害者への理解に対する関係機関及び団体向けの勉強会、説明会等は、問い合わせはあるものの感染拡大防止のため中止もしくは来年度へ延期とした。但し、地域ケアプラザ職員向け及び地区支援チーム会議との連携による地区民児協及び主任児童委員向けの研修については実施した。

キ. その他

- 令和3年1月に栄区生活支援センター・小菅ヶ谷地域ケアプラザの開設20年を迎えたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い記念式典等を中止し、令和3年度を「解説20周年ありがとう年度」として地域への感謝を込めて、地域の事業所や地域の方々も参加するポッチャ大会（令和3年10月～令和4年1月）を開催した。
- 区内地域ケアプラザに担当窓口職員を配置し、地域における課題についての相談窓口としての機能を強化したことで、今までケアプラザで対応が止まっていたケースがセンターに来るようになり、地域課題を掘めるようになってきた。又、定期的な情報共有の場を設けるとともに、ケアプラザでの出前相談会実施に向けての調整を行っている。
- 令和3年度より区役所の各地区支援チーム会議へ参加することで障害担当部署以外との連携ができた。その中で、地域における障害者の実情を知ることができ、新たな地域ニーズに対する相談体制作りにつながった。又、センター紹介や精神障害に対する研修の依頼もあり、区役所職員向け（延期）、各地区民児協や主任児童委員向け（実施）を行った。
- メンタルヘルス不調者への相談支援を強化するための配布していたチラシによる問合せ、相談も来るようになり、メンタルヘルス不調者への相談支援も継続していく。
- 利用者の警察対応案件から警察との連携ができ、警察への相談電話の方に生活支援センターへの相談を促しているケースが出てきた。又、センターから警察に対し自傷他害等のケースの対応の相談も出来るようになってきた。

(2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者（自立生活アシスタント事業該当者）の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

支援に当たっては、極力複数の専任職員での対応を行い、支援内容により他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図りました。

又、自立生活アシスタントの利用状況・目的を精査し、終了も踏まえて利用者及び関係機関と相談し、終了後についてはセンター本体対応も含めて検討した。

○登録者数 12名（内、自立生活援助1名）：相談中 0名、終了者 0名

○支援内容

- 1 金銭管理（計画性の指導と管理）・・・あんしんセンターとの連携
- 2 衣食住及び消費生活支援・・・ヘルパー事業所との連携
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理・・・訪問看護との連携
- 5 住環境整備（部屋の片づけ、引越しの援助、）・・・ヘルパー事業所、不動産業者との連携
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定

- 8 定期的訪問（生活状況の把握,精神的安定）
- 9 その他日常生活における問題の相談

(3) 地域移行・地域定着支援事業

令和3年度も新型コロナウイルスの影響で病院での面会中止が続き、継続中の支援や新規支援にも影響が出ている。又、協働活動、普及啓発活動もできない状況が続いているため、退院サポート事業及び地域移行・定着事業も新規の相談依頼は滞っているのが現状である。一部病院では、オンライン面会を実施し、関係性の維持に努めている。

○支援者数 4名：相談中 1名、退院後フォロー 0名

(4) 計画相談事業（指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業）

区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携で充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。又、区内の精神障害者への計画相談事業所が少ないため、センターへの問い合わせが増えており、本来のセンターの精神障害者の計画相談事業所に対する役目が十分にできていない状況にある。そのため、区内の精神障害者対象の相談支援事業所との定期的な打合せが、新型コロナの影響でできなかったため、令和4年度は開催を予定している。

○総件数 19件（特定相談件数 19件）：相談中 1件、終了者 1名

5 防災訓練

- ・第1回 自衛消防（防災）訓練

令和3年9月13日（月）13:30～14:00

- ・第2回自衛消防訓練

令和4年3月8日（火）13:30～14:00

*第1回、第2回共に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び生活支援センターの利用者参加による避難訓練は中止とし、両職員による避難経路確認及び消火設備確認を行った。

- ・福祉避難所開設訓練

令和3年3月8日（火）14:00～14:30

小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同での福祉避難所開設訓練は、新型コロナウイルス感染拡大の状況のもと中止とし、各施設で福祉避難所開設マニュアルの読み合わせを行った。

■法人及び関係機関等会議及び行事 等

(1) 横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議・実務者会議、各種部会、サポートネット会議、自立支援協議会、精神部会・相談支援部会、ネットワーク連絡会、三機関定例カンファ・・・実施（集合、ZOOM）
- ・福祉避難場所連絡会、自殺予防対策分科会・・・書面開催
- ・自殺対策キャンペーン、ふれあい交流事業、区民祭り、新年祝賀会、三機関合同連絡会、各種研修会・・・中止

- (2) 区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等
- ・生活支援センター連絡会、南部若者支援連絡会、さかえ会・・・実施（集合、ZOOM）
 - ・サポートセンター徑運営委員会、みちくさみち理事会、こだちの会運営委員会、小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、小菅ヶ谷つながるプラン全体会・分科会、移動情報センター推進会議、とんぼ報告会・・・書面開催
 - ・実務者連絡会、地域ケア会議、栄区社会福祉大会、さかえ福祉フェスタ、区社協専門機関分科会、駅前祭り、小菅ヶ谷地域敬老会、運動会・・・中止
 - ・障害者週間キャンペーン・・・チラシを施設配布
- (3) 市精連関係
- ・市精連理事会、相談部会、シンポジウム、政党懇談会・・・実施（集合、ZOOM）
 - ・市精連総会・・・書面開催
 - ・市精連研修会・・・オンライン開催
- (4) 法人関係
- ・施設長会議、研修委員会、広報委員会、研修会・・・実施
＊新型コロナウイルスの影響で例年より集合研修は減少した。
 - ・法人理事会、評議員会・・・実施
 - ・法人発表会・・・中止

■ 研修会参加

- (1) 外部研修
- ・支援、援助技術関係（9回）、 ・医療、薬関係（2回）、 ・災害関係（2回）、
 - ・メンタル、リスク関係（9回）、 ・その他、一般関係（2回）他
- (2) 法人関係
- ・法人研修（7回）、 ・法人発表会（0回）、 ・センター研修（5回）他
- (3) その他
- ・初任者研修（2名） ・サビ管更新研修（2名） ・実習指導者講習会（2名）

■ 実習生受け入れ

- (1) 精神保健福祉士関係実習 : 11名
- (2) 看護学校関係実習 : 55名
- (3) その他実習生 : 1名

以上

令和3年度 栄区精神障害者生活支援センター収支決算書
(総括版)

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
I 収入の部					
1 指定管理料収入(当初)	83,418,000	83,418,000		0	
2 指定管理料収入(変更)	0			0	
3 法人負担金	0			0	
4 相談支援事業に要した交通費収入	0			0	
5 自立支援給付費収入	1,120,000	953,824		166,176	
6 食事サービス収入	1,150,000	1,257,700		▲ 107,700	
7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入	100,000	79,871		20,129	
8 その他の実費収入など	0	0		0	
収入合計	85,788,000	85,709,395		78,605	
II 支出の部					
1 人件費	65,128,000	55,897,343	0	9,230,657	
所長				644,485	
常勤職員				4,202,142	常勤5名
非常勤職員	13,172,000	10,461,037		2,710,963	非常勤4名
アルバイト	4,673,000	3,732,630		940,370	アルバイト2名
調理アルバイト	2,753,000	2,839,589		▲ 86,589	調理6名
嘱託医賃金	1,136,000	877,308		258,692	嘱託医3回/月、カウンセラー1回/月
法定福利費	6,724,000	6,227,351		496,649	健康保険、厚生年金他
退職金給与引当金	936,000	960,220		▲ 24,220	中退金
福利厚生費	170,000	90,835		79,165	健康診断、インフルエンザ
労務厚生費	60,000	51,000		9,000	ハマフレンド
2 施設管理費	7,100,000	6,951,529	0	148,471	
光熱水費	3,500,000	3,124,376		375,624	電気、ガス、水道
庁舎管理費	3,200,000	3,247,282		▲ 47,282	施設管理、清掃他
修繕積立金	500,000	500,000		0	年度末残高・執行計画別紙
利用者負担金充当金	▲ 100,000	79,871		▲ 179,871	(入浴・洗濯・インターネット収入から)
3 運営費	7,440,000	7,168,137	0	271,863	
旅費	400,000	181,023		218,977	旅費交通費
消耗品費	600,000	661,372		▲ 61,372	事務用品他
印刷製本費	250,000	238,253		11,747	パンフレット、チラシ作成他
修繕費	1,500,000	928,759		571,241	執行状況報告
通信運搬費	1,200,000	1,114,816		85,184	電話、ネット、切手他
賃借料	1,600,000	1,908,003		▲ 308,003	車両、PC、コピー機他リース料
備品等購入費	500,000	627,835		▲ 127,835	
保険料	100,000	311,266		▲ 211,266	施設賠償保険
雑費	1,290,000	1,196,810		93,190	研修費、会費他
4 本部繰入金	3,750,000	3,651,042		98,958	
5 食事サービス費の支出	1,150,000	1,274,924		▲ 124,924	
6 その他の実費からの支出				0	
支出合計	84,568,000	74,942,975	0	9,625,025	
III 戻入の部					
人件費戻入精算分		9,230,657			
戻入合計		9,230,657			